

特別講演 1

「高カリウム血症の診断と治療」

社会医療法人 宏潤会大同病院

腎臓内科 部長

志水 英明 先生

高カリウム血症は RAAS 阻害薬、CKD(AKI)、心不全、糖尿病などにより惹起されるが、これらに加え病歴・血圧・尿量・心電図・血糖・NSAIDs・Cr をチェックし、該当するものが多い時は高カリウム血症を疑い、採血、心電図にて診断をする。高カリウム血症の原因には①腎排泄の低下、②細胞内外の分布異常、③細胞からの異常放出、④偽性高カリウム血症がある。高カリウム血症の緊急対応ではカルチコール投与、GI 療法、重炭酸輸液投与、イオン交換樹脂の投与、フロセミド、血液透析を行う。慢性期治療では食事療法、管理できない場合薬物療法を行う。透析前の低血圧は高カリウム血症への注意が必要である。新しいカリウム吸着剤ロケルマはカリウムの選択性が高く、効率的にカリウムを吸着できる特性がある。CKD 患者にもシックデイルールが必要で、降圧剤や SGLT2、メトホルミン、ビタミン D は CKD 患者の体調不良時や血圧低下時に注意を要する。NSAIDs 内服無し、を確認することも重要である。